

明日に向かって



INDEX

- ・ 令和2年度保護司等中央研修会開催 …2
- ・ 東京保護観察所 古川所長来訪 …2
- ・ 令和2年度第三ブロック保護司組織運営連絡協議会開催 …2
- ・ 面接利用に対する感想や要望 …3
- ・ 企画調整保護司メンバーの紹介 …3
- ・ 保護司会と更生保護団体 …4
- ・ 品川区更生保護サポートセンターの地図等 …4
- ・ あとがき（編集後記） …4

品川区保護司会
更生保護サポートセンター



令和2年度保護司等中央研修会開催

9月9日（水）保護司等中央研修会が開催されました。コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、法務大臣表彰、全国保護司連盟理事長表彰等、代表受領者のみ会場に参加し、研修会の様子は、YouTubeで生配信され、品川区保護司会は該当者及び、木崎会長、区地活部長他4名、吉田桐友会会長がサポートセンター会議室で視聴しました。

第1部式典では、それぞれ代表者の表彰状授与と同時に起立して、表彰された雰囲気味わいました。顕彰式典も中止になっていますので、貴重な体験をさせていただき、感謝です。

第2部は、谷垣全保連理事長、村上元保護司、今福保護局長による対談で、サポートセンターから保護司の仕事の楽しさを伝えてくださいとのお話でした。（執筆：鈴木総務部長）



東京保護観察所 古川所長来訪

10月5日（月）東京保護観察所 古川所長、北川民間活動支援専門官が来訪されました。

品川区保護司会の木崎会長他6名、更生保護女性会松澤会長が同席し、サポートセンター会議室において保護司会における問題点や観察所としての方向性などについて活発な意見交換が行われました。（執筆：伊藤副会長）



令和2年度第三ブロック保護司組織運営連絡協議会開催

10月30日（金）ZOOM会議という新しい方式で第三ブロック研修が品川区更生保護サポートセンターの会議室で行われました。石津保護司が、パワーポイントを元に品川区の総括意見を発表し、他区の保護司会の皆様に品川区保護司会ならではの活動をアピール出来ました。

協議員として木崎会長他16名のメンバーが見守る中、1時間30分をかけた他の区の発表も拝見し、品川区保護司会のいろいろな活動を確認することが出来ました。

普段、各分区で活動していただいている内容が集められて品川区保護司会が活動できているのは大変素晴らしいことだと思います。これからもサポートセンターを活動の拠点として保護司会活動が発展することを希望いたします。

（執筆：松尾地活部長兼更生保護サポートセンター事務局長）



【面接利用に対する感想や要望】



大井分区 西本貴子

「更生保護サポートセンターを利用して」

サポートセンターは自宅から少々離れているので、対象者の面談の使用には機会がないかなと思っていました。

しかし、サポートセンターは情報の発信場所でお電話をすれば、担当の保護司さんに対応して頂けるので安心を感じていました。

この夏、地域を超えて対象者を担当する事になりました。初回面談は往訪する事にしている事と、主任官からも往訪の指示があったので、自宅へ向かいました。対象者の部屋は物が散乱し、足の踏み場もありません。部屋に入る事もできない状況から、どうしようかと迷い、その時、サポートセンターが近い事に気づきました。

予約はしていませんでしたがサポートセンターに連絡すると空いているという事で急遽、対象者を連れて行き初回面談が出来ました。彼の自宅はクーラーもなく、電気も止められおり、真っ暗で、生活環境は最悪の状況でした。本人から、胃の調子が悪く、救急搬送されたと聞きました。事実かは確認としてはいないものの、明らかに顔色も悪く、クーラーの効いているサポートセンターの部屋に入るなり「気持ちが良い」とほっとした対象者の顔が非常に印象に残りました。

今後の面談はサポートセンターを利用する事にし、道順の確認を対象者として、次はサポートセンター前で待ち合わせをする事にしましたが、当日、来ません。それからは対象者の自宅に迎えに行き、サポートセンターと一緒にいき、面談をする事にしました。

しかし、対象者のドタキャンは続き、そのたびにサポートセンターの予約を変更する事になっていました。ドタキャンは通常の事なので驚きはしませんが、彼の自宅から私の自宅が遠く、この状態では、来訪は難しいと思っていたのでサポートセンターが利用できる事は非常にありがたい環境だと実感しました。結局、この対象者は事情があり保護観察から外れたので、サポートセンターの利用は無くなりましたが、面談場所は保護司にとって悩みの一つです。面談場所が各地域にあれば保護司の担い手も増えるのではないかと思います。

企画調整保護司メンバーの紹介

更生保護サポートセンターでは、各分区より選出された16名の企画調整保護司が、平日（月～金）の午前10時～午後4時迄で、午前10時～午後1時と午後1時～午後4時で当番を交替して対応しています。是非気軽に立ち寄っていただき、対象者の処遇相談や情報交換等して頂ければ幸いです。



品川分区：井門 敏明、川邊 順子
木崎 新一郎、松本 初江
大崎分区：江口 千枝、鈴木 美千代
古谷 洋子
大井分区：伊藤 昌宏、神原 正子
早野 紀佐子
荏原東分区：井上 耕一、谷川 寛
荏原西分区：石坂 啓、大島 啓介
林 洋子、松尾 和英
※ 表記：サポセン通信編集委員

保護司会と更生保護団体

品川区保護司会では、犯罪のない品川区をめざし、社会を明るくする運動をはじめとして様々な活動を展開しています。特に、女性の立場から地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動や青少年の健全育成、犯罪を犯した人や非行少年の更生に協力する女性ボランティア団体である更生保護女性会や、兄や姉のような身近な存在として少年と接しながら、自分自身で問題解決をしたり、健全に成長していくことを支援するとともに、犯罪や非行のない地域社会の実現を目指す青年ボランティア団体であるBBS会の活動も活発に行われています。



品川区更生保護サポートセンター

更生保護サポートセンターとは、保護司・保護司会が、地域の関係機関・団体と連携しながら、地域で更生保護活動を行うための拠点です。その多くは保護司会が市町村や公的機関の施設の一部を借用し、開設しており、そこでは、経験豊富な「企画調整保護司」が常駐して、保護司の処遇活動に対する支援や関係機関との連携による地域ネットワークの構築等を行っています。

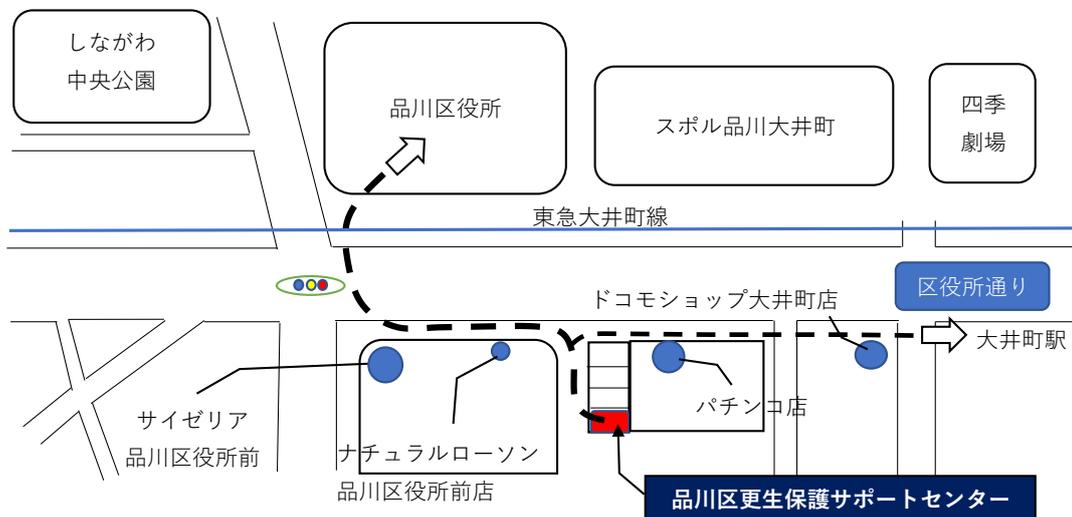
また、保護司を始めとする更生保護ボランティアの会合や更生保護活動に関する情報提供の場としても活用されています。平成20年度から整備が開始され、令和元年度予算で全ての保護区に設置されました。

品川区では、平成31年3月1日に品川区更生保護サポートセンター開設準備室が設置され、令和元年7月より現在の場所に開設し、活動を開始いたしました。

更生保護サポートセンターには、面談室；1部屋の他、会議室；1部屋が用意され、更生保護に係わる面談や会議などに活用されています。

住所：〒140-0014 東京都品川区大井 1-15-13 TEL/FAX：03-4285-0580

E-mail: shinagawakusaposen@gmail.com



《編集後記》

保護司を委嘱されて3年、まだ駆け出しの私が企画調整保護司として開所からサポートセンターに携わる事ができ、様々な学びをさせて頂いています。

サポートセンターでは処遇会議に出席したり、個人的に先輩方のお話を伺うチャンスもあり、対象者の処遇について「なるほど」と思う事があります。また保護司会としての活動も様々で、いつも見えないところで会のために活動されている先輩方のお姿を拝見することもできました。

令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止のために活動の制限も多く、サポートセンターでも一時期閉所を余儀なくされていましたが、非接触式電子温度計や消毒液の設置、マスク着用、換気の徹底など三密を避けた予防策を講じて活動を再開。品川区の更生保護の拠点として「明日に向かって」進んでいます。

まだ利用されていない方も、ぜひ気軽にお立ち寄りください。(執筆:古谷)